

小学生が河川施設の役割や仕組みを学びます

～黒野小5年生 排水機場見学～

概要

岐阜市立黒野小学校の5年生児童(約100人)が社会科の授業の一環として、新堀川が伊自良川に合流する地点付近に設置されている「新堀川排水機場」を見学します。

児童らの居住している地域を浸水被害から守る公共施設である当該排水機場の働きや仕組みを現地で実際にポンプやエンジンなどの設備を見て学習し、河川管理施設の重要性について理解を深めていただきます。

1. 日 時 平成28年6月9日(木) 9:00～10:00
2. 場 所 新堀川排水機場(岐阜市折立)
3. 資 料 別紙のとおり(見学場所位置図、排水機場の概要)
4. 配布先 岐阜県政記者クラブ
5. 問合せ先 木曾川上流河川事務所 〒500-8801 岐阜市忠節町5-1

管理課長 中川 喜久

TEL:058-251-1325(管理課直通)



◆見学会場位置図



◆見学施設の概要

排水機場とは・・

洪水時に本川から逆流した水によって支川の水があふれて浸水被害が発生することを防止するため、ポンプにより強制的に本川に排除するために設けられた施設

新堀川排水機場の概要

新堀川の内水を伊自良川へ強制排除する施設です。

- ・総排水量 20m³/s (5m³/s×4台)
- ・ポンプ口径 1,500mm
- ・主原動機 ガスタービンエンジン2台、ディーゼルエンジン2台
- ・完成年月 1988(昭和63)年8月



◆見学会イメージ

